

非常招集訓練を実施

足利市消防本部

足利市消防本部は、初動体制の確立や危機管理意識の高揚を図るため、3月11日、「午前6時58分頃、足利市に震度6強の直下型地震が発生した」という状況を想定し、消防職員による非常招集訓練を実施しました。午前7時に消防防災情報（Eメール）で地震発生を全消防職員に配信したところ、徒歩・自転車・バイク等の限られた交通手段で110名の職員が参集。完了時間は最短10分、平均40.2分でした。この参集状況を検証し、非常招集体制の検討を図っていきます。



中央消防署職員の参集状況

国際消防救助隊総合訓練の実施

大津市消防局

大津市消防局では、平成24年3月16日（金）に国際消防救助隊の総合訓練を実施しました。訓練では、国際標準技術で必要な「ショアリング（倒壊建物安定化技術）」、「クリビング（重量物安定化技術）」等を駆使し、「CSR（狭隘空間内救助）」を実施しながら要救助者を救出しました。

今後も当消防局では海外派遣はもちろんのこと、国内大規模災害でも通用する隊員育成に努め、いかなる時でも大規模地震災害に対応できるよう取り組んでいきます。



狭隘空間で要救助者を搬送する隊員

消防通信 望楼 ぼうろう

「家庭から火事を出さない」誓いを新たに

吹田市消防本部

吹田市家庭防火クラブは3月18日、吹田市文化会館において発足30周年記念式典を開催しました。式典では、市長から家庭防火クラブ連絡協議会に、消防長から各家庭防火クラブにそれぞれ感謝状が贈呈されました。クラブ員など100名が参加、今後も家庭における防火責任者として「家庭から絶対に火事を出さない」をモットーに防火運動を展開していくことを誓いました。



吹田市家庭防火クラブ発足30周年記念式典の様子

海上保安署との合同訓練を実施

宮古島市消防本部

宮古島市消防本部は、3月18日、平良港に停泊中のフェリー船内において、宮古島海上保安署と合同救助訓練を実施。消防本部職員8名の指導のもと、巡視船乗組員23名、フェリー乗組員11名に対し、船舶内災害を想定し、心肺蘇生法やAED取扱訓練等の救急講習会、空気呼吸器取扱、濃煙検索救助、ロープ結索等の訓練を行いました。これは、平成22年度に締結した「救助技術等に係る相互協力に関する覚書」に基づく4回目の訓練であり、相互の連携強化を確認しました。



合同訓練実施状況

消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】